

平成 29 年 第 2 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 平成 29 年 2 月 20 日（月） 午後 2 時
- 2 招集場所 大河原町役場 議員執務室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、齋一志教育長
- 4 説明のため出席した者
教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 大槻 文彦、学校教育専門監 千葉 英一
- 5 開 会 午後 2 時
- 6 平成 29 年第 1 回教育委員会定例会会議録の承認について
舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。
丹羽委員、古山委員 署名。
- 7 平成 29 年第 1 回教育委員会臨時会会議録の承認について
舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。
齋教育長、一盃森委員 署名。
- 8 平成 29 年第 2 回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について
舟山委員 | 舟山委員、丹羽委員を指名する。
- 9 教育長報告
無し
- 10 議事
議案第 2 号 平成 29 年度大河原町教育基本方針及び教育重点施策について
(教育総務課長説明)
平成 29 年度教育基本方針及び教育重点施策についてご説明申し上げます。資料は 2 ページから 5 ページである。大河原町教育振興基本計画（平成 25 年度～平成 29 年度）に沿っており、昨年度と大きな変更点はない。（詳細は資料参照）
(質 疑)
一盃森委員 | 4 ページ「2 (3) ⑥ 放射線から身を守り、適切な行動をとる能力の育成」、のところは 3 ページ「1 (3) ④ 様々な災害に対しての適切な行動」に含まれるのではないか。

専門監 | 該当の部分を削除することにしたい。
舟山委員 (委員全員に諮って) 承認する。

1 1 その他

(1) 教育長報告

(説明者：齋教育長)

資料は別紙資料(校長会資料)である。

I 各学校情報

1 大河原小学校

- (1) 文部科学大臣表彰 主幹教諭 高橋 大介
- (2) 行きたくなる図書室 高学年図書室「お化け屋敷」に長蛇の列
低学年図書室「ディズニーランド」
- (3) 3校交流会(大小、南小、柴田町西住小 6年生)
- (4) 「ボランティア感謝の会」 感謝の手紙に目を潤ませる地域の人々

2 金ヶ瀬小学校

- (1) 全国いじめサミット 出場 子どもサミット in 金ヶ瀬を開催
- (2) 素晴らしかった「保護者アンケート」

3 大河原南小学校

ようこそ西住小学校 学校間交流
校長室が「九九道場」

4 大河原中学校

2月3日(金)立志式

5 金ヶ瀬中学校

学校評議員会 学校関係評価委員会
経年比較の効果 3か年比較 成果が実感される効果あり

II ゲーム・スマホの約束

前進した大河原ルール 1月28日(土)明日青のつどい

児童代表、保護者代表の発表、高校生とパネルディスカッション

各学校独自ルール策定

大河原小学校「さくらばなルール」100%達成

金ヶ瀬小学校 守ろうポプラ児童会「什の掟」

大河原南小学校「南小ルールを守ろう」

大河原中学校「学校と家庭が連携強化」

金ヶ瀬中学校「自発的目標達成 私の実行宣言」

大河原宣言 生徒代表と保護者代表の宣言

生徒「加害者にも被害者にもならない」ためにルールを守ることを宣言します

保護者「ルールを守らせませす」「フィルタリングの加入100%を目指します」

Ⅲ「大河原町標準学力テスト」平成28年12月の成果

学級ごと分析⇒実態から向上・ダウンの理由を突き止め対策を講ずる⇒成果を讃えあう（児童生徒、保護者共有）⇒課題を洗い出し、ペーパーで示すこと

Ⅳ教育事務所から

人事異動関係の日程連絡

事故防止の徹底

人事異動に伴う事項的確に

春休みの児童生徒の事故防止 事前指導徹底

春休み課題の工夫 4月県・全国学テ対策を 保護者に理解図る

Ⅵその他

(1)文科省最新情報

「地方教育アドバイザー」新設 指導主事等を設置していない教育委員会優先

(2)教育委員会運営上の工夫例

教育委員会開催前の事前資料配布 68.8% 大河原町は実施済み

開催日時議案等をHP掲載 43.9% 大河原町は実施済み

移動教育委員会の開催 20.8% 大河原町は視察実施

(3)小学校外国語教育

学習指導要領改訂に向けてのスケジュール

29年 児童用冊子、指導書、デジタル教材(5・6年)資料 配布

30年 児童用冊子、指導書、デジタル教材(3・4年)資料 配布

3・4年生 週35単位時間、5・6年生 週70単位時間

英語指導における民間活用を図っていきたい。

(質 疑)

舟山委員

教育長より、教育委員会の在り方などでアドバイスをということだが、何かあれば後日ご提案願いたい。

スマホの会議に出てとても感動した。工夫が感じられ、PTA参加もとても良かった。子供たちの発表も学校ごとに個性が出てきて感心させられた。円熟期に入ったと感じる。最終的に家庭と子供たちの連携が大事だと感じたところである。

丹羽委員

次期指導要領改訂における外国語活動でのALTの問題だが、財源が厳しいため民間活用をとの話であるが、塾の先生などにもご協力をお願いするなどもよいのではないか。

舟山委員

退職教員の中にもいるのではないか。

一盃森委員

民間の方でも、海外在住経験のある方は沢山いるはず。声をかけてみるのも良いのではないか。

専門監	現在の小学5・6年生の外国語活動が、小学3・4年生に下りてくる。小学5・6年生は教科書があり、書くことの指導も入ってくる。週二単位、かなりの比重である。
古山委員	被災地に関東からの学生が支援に来て指導しているという話を聞いている。学生ボランティアも考えられるのではないかと。それからどの程度のレベルの先生を学校が希望しているのか。
丹羽委員	お寺に外国の方がいらっしゃった場合は、スマートフォンで翻訳している。難しい仏教の専門用語もきちんと変換してくれる。間もなく多くの外国語に対応できるようになるだろう。
舟山委員	ますます先生方の余裕がなくなると、学校が窮屈になってしまうのではないかと。
丹羽委員	英語は、言語なので、毎日の生活の中で使う機会を増やすといった試みが大事。
専門監	常に英語に触れる環境はあるのか。
教育長	大河原町では、今年度ICTの整備により教室でタブレットとプロジェクターが使用できる。教科書に準拠した音源再生や映像投射ができる環境は整っている。
専門監	これからの教員養成課程は英語が必須となっている。これから大学で英語を勉強するという教員にも文科省で支援する施策も出ている。
丹羽委員	英語専科の先生を置けるととても良いと思う。
舟山委員	学校にとっては本当に大変なことですね。
	現場の先生方にとっても大きな指導要領改訂であるが、未来の子供たちの為に頑張ってもらいたい。

12 各課長報告

(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)

3月の行事予定を説明申し上げる。別紙資料である。

13 次回教育委員会の開催日程について

舟山委員 | 次回の定例会は、平成29年3月24日(金)午後2時から開会する。

14 閉会宣言 午後3時20分

平成29年3月24日

署名委員

署名委員